

「図書館資料検索とAI」

主催：図書館分科会

➤ 1.開催日時・場所

日時：2024年12月12日（木）14:00 – 16:30

（会場受付は13:40から開始いたします）

会場：富士通 Yokohama Hub or オンライン(Webex)

※詳細は4項をご参照ください。

➤ 2.概要

図書館にもAIを活用しようという試みが始まっています。はじめに横浜市立図書館様に「横浜市立図書館における蔵書探索AIの導入と利用者の反応」と題して、今年1月に導入した全国初となる蔵書探索AIについて導入経緯、利用者の反応や現在の状況などをご講演いただきます。

次にエルゼビア・ジャパン株式会社様より「Scopus AIの最新機能と活用事例」と題して今年1月にリリースしたScopus AIについて最新機能、開発経緯や世界各国の研究機関での活用事例などをご講演いただきます。

今回の分科会は、「OPACとAIを組み合わせることで期待できること」、「電子リソースとAIを組み合わせることで期待できること」など、図書館におけるレファレンスサービスのChatbot以外のAI活用の可能性について理解を広げる場にしたいと思います。

AIが図書館業務にどう影響するのかに興味がある方、AIを活用したシステムを導入しようと検討している方など会員校の方にはどなたでもご参加可能です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

➤ 3.スケジュール・内容

※スケジュール、内容等に関しては変更になる場合がございます。

14:00

○開会挨拶

○ご講演「横浜市立図書館における蔵書探索AIの導入と利用者の反応」

横浜市中央図書館企画運営課 企画調整係

横尾 菜穂 様

【ご講演の概要】

横浜市立図書館は令和6年1月に図書館情報システムを全面リニューアルしました。

リニューアルで導入した新機能や全国初となった蔵書探索AIの紹介と稼働から1年弱が経過しての現在の状況について、お話しさせていただきます。

○質疑応答

～（休憩）～

○ご講演「Scopus AIの最新機能と活用事例」

エルゼビア・ジャパン株式会社 Scopusプロダクトマネジメント

シニアダイレクター 柿田 佳子 様

【ご講演の概要】

Scopus AIは、研究を支援するための生成AIツールで、既に世界中の多くの研究機関で利用されています。利用者からのフィードバックに基づいて開発されているScopus AIの概要と活用事例について紹介します。

○質疑応答

16:30

○閉会挨拶

➤ 4.お申込み・お問合せ先

【参加費】 分科会：無料
情報交換会(懇親会)：4,000円（参加ご希望の方のみ）

【参加対象】 CS研・IS研会員校・会員企業の方
CS研・IS研会員校以外の大学の教職員の方

【申込期限】 **12月5日（木）** まで

【申込URL】 下記URLよりお申込みをお願いいたします。
<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/113648>



【お申込み】

- ※ お申込みの際は、以下3件より**1つ チェック**をお願いします。
- ◆ 会場参加、懇親会参加
 - ◆ 会場参加のみ
 - ◆ オンライン参加

<会場（Fujitsu Yokohama Hub 16階 Co-Creation）で参加の方>

場所：神奈川県横浜市西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング

<https://maps.app.goo.gl/zVTqd6jNnGdHZFc26>

アクセス：JR線、東急東横線、みなとみらい線、京浜急行本線、相模鉄道本線、横浜市営地下鉄
横浜駅より徒歩5分、みなとみらい線新高島駅より徒歩2分

- ※ 3階の受付にお立ち寄りください。フラッパーゲート用カードをお受け取りいただき、
フラッパーゲートを通過し、エレベーターで16階までお越してください。

<オンラインで参加の方>

開催日前日までにe-mailにて参加URLをご連絡いたします。

- ※ 参加に必要な物
パソコン、インターネット回線、「聞く・話す」の両方が使えるヘッドセットもしくはイヤホンマイク等
- ※ 当日はWebex Meetings（Cisco社）を使用いたします。
- ※ インターネット回線やご自身のPCの状況により、接続できない場合や、
聴き取りにくい場合があります。ご了承ください。

【お問い合わせ】

私立大学キャンパスシステム研究会 事務局（高橋、宮島、仙崎）

E-mail contact-csiken@cs.jp.fujitsu.com